

(様式1)

2026年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 033	提案機関名 湘南家畜保健衛生所
要望問題名 効果的かつ省力的なサシバエ防除方法の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ストレスによる泌乳量低下をはじめ、牛伝染性リンパ腫ウイルスの伝播、昨今ではランピースキン病の媒介昆虫としてサシバエが改めて注目されている。管内においては、山間部の農場で発生数は顕著であり、伝染病を媒介するリスクもあることから、指導側としても警戒している。また、防除法については全国でも多数の事例があるが、簡易的な対策から徹底的な防除まで幅が広く、畜主が実施コスト（人的・資金的）と実効果をイメージしにくい。そのため、実施コストと防除効果を相対的に評価していただき、よりコストパフォーマンスに優れた防除法を検討することで指導の一助としたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 畜舎におけるサシバエハエの発生は、家畜のストレスによる生産性の低下だけでなく、伝染性疾病の媒介により経営に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。サシバエの防除は、除糞など環境整備による発生源対策のほか、粘着シートやネットによる物理的防除、殺虫剤や忌避剤による化学的防除、天敵利用による生物的防除などの方法があり、畜舎の構造と環境、労力や費用の負担などを勘案して選択することが必要です。 提案のありました防除方法毎のコストと防除効果の評価については、農場毎に対応方法が異なりますので、改善に取り組みたい農場の状況を把握して効果的な対応策の検討を支援してまいります。その際には、関係機関と連携して取り組んでまいります。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			